

山行報告書

作成: 2009年9月14日

愛知岳連 岡崎山岳会

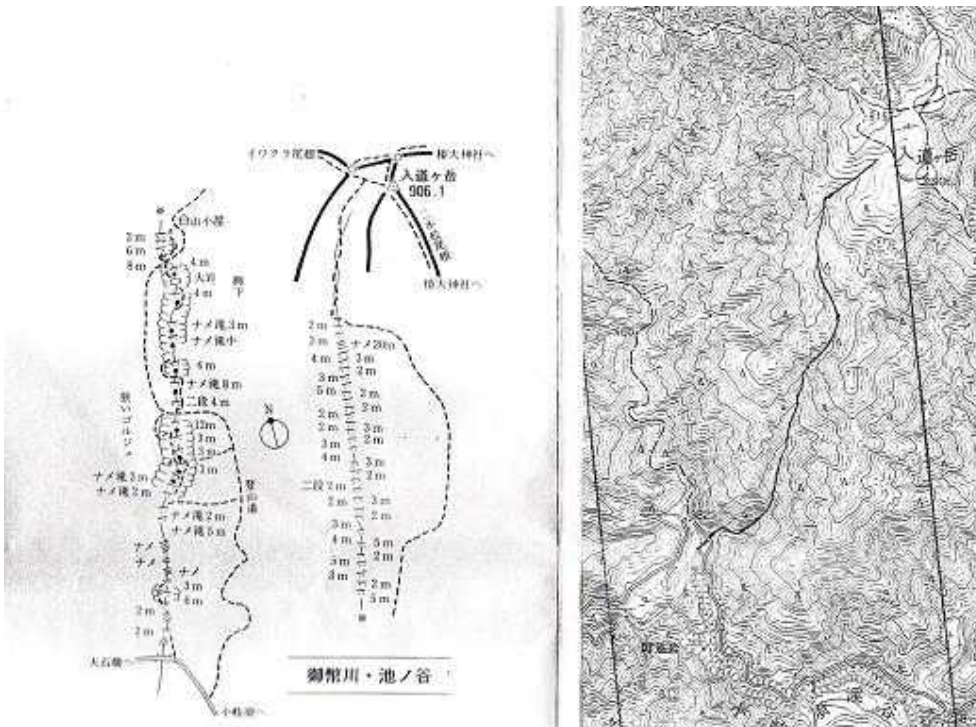
山名[山域]	「鈴鹿」入道ヶ岳 [御幣川・池ノ谷]	目的[方法]	沢登りを楽しむ。
期間	2009年9月6日	形態	日帰り
参加人数	5人		

行動記録:

9/6日(日) 晴れ

岡崎市民病院P(5:00)⇒岡崎IC(5:20)⇒鈴鹿IC(6:10)⇒池ノ谷出合(6:30 6:50)-避難小屋(8:40 9:00)-登山道(9:40:10:00)-入道ヶ岳分岐(10:20)-山頂(10:30 11:00)-分岐(11:05)-避難小屋(11:50 12:00)-池ノ谷出合(12:40 13:00)=希望荘「温泉」(13:30 14:30)=四日市IC(15:05)=岡崎IC(15:45)=岡崎市民病院P(15:50)

概念図:



メモ

駐車場
池ノ谷出合付近道路横
4~5台くらい。
トイレ有り

希望荘「温泉」
¥500
見晴らしが良い

日誌:

岡崎市民病院P(5:00)出発、池ノ谷出合(6:30)到着。装備を整え、沢登り初体験なので少々緊張し入渓。登山道とは違い涼しく、景観や沢が変化に富んでいて楽しい。トップのKさんのホールドを参考にしながら溯行していく。途中2箇所の滝でザイルをだしてもらい何とか登る。滝の水量は少なくシャワークライミングとはなりません。しだいに沢も平坦になり溯行終了。途中大きな蛙や蛇、山頂近くの笹原ではバッタの大群にお目にかかれ、マイナスイオンをたっぷり浴びて気分爽快！登山靴に履き替え登山道へ、ここで全員が蛭の餌食になっているのにきづく。山頂は展望の良い広々とした草原で、鎌ヶ岳や奥には御在所岳、鈴鹿の街並みが見えます。早めの昼食をとり出発、下山道にも蛭がいっぱい！沢よりも断然多い。道も歩きにくく荒れている、Kさんの指示で登山靴にして良かった。スニーカーだったらと思うとぞっとする。予定通り(12:40)池ノ谷出合着。見晴らしの良い温泉で汗を流しさっぱりし帰路に着く。帰りの高速は渋滞も無く(15:50)岡崎市民病院P着。

感想:

Kさんに確保していただき10mくらいの滝を直登できたのでとても好い気分になりました。それにしても確保無しで直登するトップの方はほんとに危険な役割だなあと感じました。来年の夏は泳いで渡渉する様な沢もあるそうなので挑戦してみたいです